

広東省週報

2月19日～2月25日

（１）省政府全体会議において、経済・社会の発展を更に高い段階に引き上げるよう強調

●23日、馬興瑞・省長の主宰により、省政府全体会議が開催され、2018年の各活動を着実に実行し、改革を全面的に深化させ、全国「两会」期間中の各活動を着実にを行い、質の高い発展を実現し、経済・社会の発展を更に高い段階に引き上げるよう全力で推進することが強調された（2月24日付け『南方日報』）。

（２）省人代常務委員会党組織（拡大）会議において、李嘉・万慶良の影響排除のための配置要求を伝達

●23日、省人代常務委員会党組織（拡大）会議が開催され、李嘉・元広東省党常務委員兼珠海市書記、万慶良・元広東省党常務委員兼広州市書記の悪い影響を徹底排除するための省党委員会通知を伝達・学習し、省人代常務委員会及び関連機関における党建設の強化を検討した。李玉妹・省人代常務委員会党組織書記兼省人代主任が会議を主宰（2月24日付け『南方日報』）。

（３）中央第12巡視グループ広東省巡視工作動員大会の開催

●23日、中央の巡視工作にかかる統一的配置に基づき、中央第12巡視グループ広東省巡視工作動員大会が開催。開催に先立ち、王鴻津・中央巡視工作指導グループメンバー兼弁公室主任（中央紀律検査委員会常務委員）が、李希・省党書記、馬興瑞・省長と会議を設け、習近平総書記の巡視工作についての重要講話の精神を伝達した。動員大会では、武在平・中央第12巡視グループ長（中央政策研究室情報研究局局長、王滬寧の秘書）が、まもなく開始される巡視工作についての講話を行い、王鴻津主任が巡視工作への協力を要求した。李希・省党書記が会を主宰し、立場表明の講話を行った。広東省における巡視期間は2月23日から5月23日までの3ヶ月（2月25日付け『南方日報』）。

（４）馬興瑞省長による東莞市視察

●24日、馬興瑞・省長が関係部門の責任者を率いて、東莞市松山湖科学技術パークを訪問。これに前後して、中国核破砕中性子発生器パーク、素材科学・技術広東省実験室、華為機器有限公司を視察するとともに、広東省実験室建設工作座談会を主宰・開催し、広州市、深圳市、佛山市、東莞市及び広東省科学技術庁における関連状況の報告を聴取し、省実験室の建設過程で直面している実際の問題を検討した（2月25日付け『南方日報』）。

（５）深圳市による持続可能な発展のためのイノベーション国家モデル地区の建設

●24日、中国政府ネットは、「深圳市による持続可能な発展のためのイノベーション国家モデル地区建設同意に関する国務院の回答」を公表し、イノベーションによって超大型都市の持続可能な発展を牽引するというテーマで、深圳市が持続可能な発展のためのイノベーション国家モデル地区を建設することに同意した（2月25日付け『南方日報』）。

（了）